

第三章

第八節

とにかく自分の手で造ってみる

～江戸時代の技師たちのしなやかな多様性と気概～

日本に初めて顕微鏡が伝来したのは、1750年頃と言われていています。当時はまだ十分な倍率が得られず、観察できたのは虫や植物が限度。そのため「虫眼鏡」と呼ばれていました。

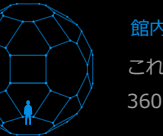
「エレキテル」は、電気によって痛みを和らげる効果を謳い文句に輸入されましたが、実質どれほどの効果が得られたかは定かではありません。

日本の技師たちは、これらを見様見真似で自作しました。まずは自分の手で造ってみる。細かな原理はその後。西洋と同じ材料がなければ、手に入る物で代用する。そんな当時の日本人のしなやかな多様性と気概に驚かされます。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.